

11-1 世界遺産登録を目指して・松本城の歴史的価値

今回は世界遺産登録を目指している松本城の歴史的価値と「世界遺産」登録を巡る状況についておたずねします。

- 1 次の「世界遺産の定義」の記述で一カ所だけ誤りがありますそれはどの部分でしょう。番号で答えて下さい。

④不動産及び動産

世界遺産は「不動産」を対象としています。不動産とは土地およびその定着物（建物など）をいいます。したがって動産は対象外です。たとえば高山市の提案である「高山の町並みと祭礼場 ——伝統的な町並みと屋台祭礼の文化的な景観」について文化庁は高山の「からくりの屋台」は動産であり現在の世界遺産の構成要件外とした。

- 2 日本が世界遺産条約を批准したのは（ ）年で、先進国の中では最後で、125番目の加盟国となりました。現在、条約締結国は185カ国です。（ ）にあてはまる番号を入れなさい。

②1992年

先進国としてはもっとも遅い。翌1993年世界遺産に登録されたのは姫路城・法隆寺地域の仏教建造物・屋久島・白神山地の4つであった。

- 3 世界遺産はその内容によって3つに分類されます。Cは何遺産というのでしょうか。C（**③複合遺産**）——文化と自然の両方について顕著な普遍的価値を兼ね備えるもの複合遺産は25件ある。

- 4 世界遺産登録までの手順を示すと次の通りです。（略）

松本城は（1）の暫定リスト提出の前の段階、日本国内における暫定リストへの掲載を目指して運動をしているわけです。さて、2008年7月（5）のユネスコの世界遺産委員会は日本の推薦した遺産を「登録延期」とし、世界遺産登録を認めませんでした。この日本の遺産はどれでしょう。

③平泉の文化財と遺跡群

- 5 日本の世界遺産はいくつあるでしょう。（2008年末現在） **④14**

○法隆寺地域の仏教建造物 ○姫路城 ○屋久島 ○白神山地 ○古都京都の文化財
○白川郷、五箇山の合掌造り集落 ○広島市の平和祈念碑（原爆ドーム）○厳島神社
○古都奈良の文化財 ○日光の社寺 ○琉球王国のグスク及び関連遺産群 ○紀伊山地の霊場と参詣道 ○知床 ○石見銀山遺跡とその文化的景観

6 松本城の歴史的価値として考えられる項目が4つあります。正しいものに○を4つつけなさい。

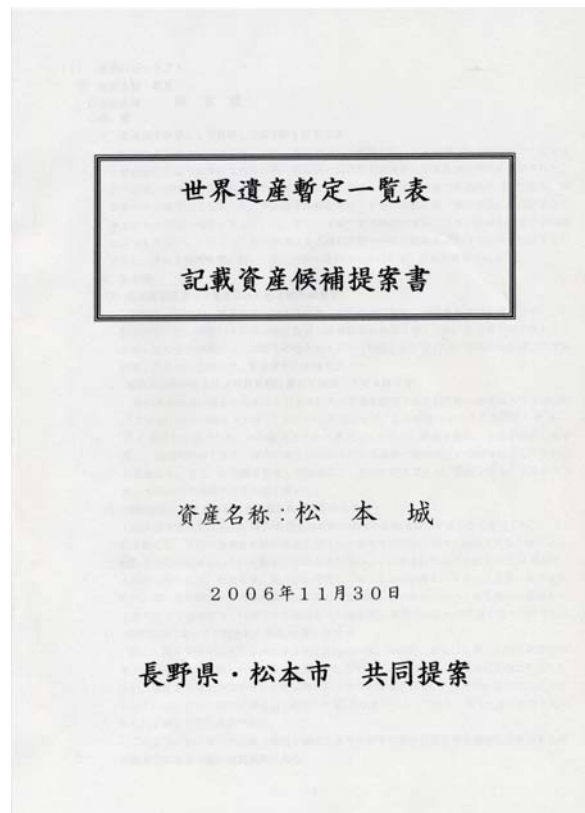
- ①国宝四城の中で唯一の平城である。
- ③石川氏によって創建された大天守は現存12城の内、天正・文禄期に属する五重六階の天守としては最古である。
- ④松本城天守は戦国時代の櫓と太平の世になって増築された櫓が連結複合した貴重な遺構である。
- ⑦複合扇状地の軟弱な地盤の上に工夫を凝らして築造されており技術的史的に見ても貴重な遺構である。



※松本城単独では世界の城郭と比較した場合、上記の4つの松本城の歴史的な価値だけでは「顕著な普遍的な価値」を十分に説明できないため、国宝四城による「日本の近世城郭群」という構想で姫路城の拡大遺産として世界遺産登録を目指す方向で研究が始められている。

7 2008年末時点で世界遺産の総数は()件である。従って、今後の登録は厳しい状況が予想されている。()に当てはまる番号をいれなさい。

③878



※2008年末で世界遺産は878件が登録されている。文化遺産は679件、自然遺産は174件、複合遺産は25件である。分類上は文化遺産が多く、地域的には圧倒的にヨーロッパに偏在している。イタリア43件・スペイン40件・中国37件・ドイツ33件・フランス33件などが目立つ。世界遺産条約締結国185カ国の内、登録物件を持たない国は40カ国ある。こうした不均衡を是正するため文化的景観、産業遺産、20世紀以降の現代建築などの登録をしていくための比較研究の必要性が示されている。